

■温室効果ガス削減の目標

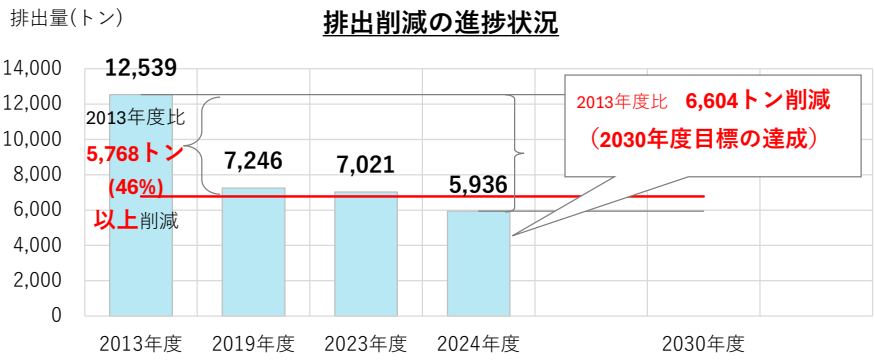
	削減目標 (政府目標値)
2030年度	2013年度比 46% (5,768トン) 以上
2050年度	カーボンニュートラル

■温室効果ガス排出量の推移

鹿児島空港の2024年度の温室効果ガス排出量は、2023年度比1,085トン減少の5,936トンである。2030年度の削減目標 (2013年度比46%以上の削減) を達成している。

	温室効果ガス排出量(トン)			
	2013年度	2019年度	2023年度	2024年度
空港施設	11,545	6,203	5,937	5,302
空港車両	995	1,043	1,083	633
計	12,539	7,246	7,021	5,936

※小数点以下の端数処理により合計値が整合しないことがある



主に契約されている電力会社の排出係数… 2019年度：0.347、2023年度：0.475、2024年度：0.417
空港全体の商用電力使用量(kWh) …2019年度：1,528万、2023年度：1,052.4万、2024年度：961.3万

■2020～2024年度の温室効果ガス排出量の増減背景

鹿児島空港では、2020年度～2024年度にかけて、電力会社の排出係数は2023年度に上昇後2024年度に低下が確認される一方、航空機運航回数、空港全体の商用電力使用量の減少を背景に、温室効果ガス排出量は減少傾向にある。

■2020年度～2024年度の脱炭素化施策の取組状況

空港施設に係る取組	<ul style="list-style-type: none">➢ 建築施設照明のLED化や省エネルギー運用等、建築施設の熱負荷低減、空調の高効率熱源の導入、空調・換気の省エネルギー運用等の取組が行われた。➢ 航空灯火のLED化が行われた。
空港車両に係る取組	<ul style="list-style-type: none">➢ 電動車の導入、アイドリングストップの取組が行われた。
再エネ導入促進に係る取組	<ul style="list-style-type: none">➢ 太陽光発電導入の実施検討が2023年度より開始された。
その他の取組	(当該期間に新たに実施した取組に関する情報なし)